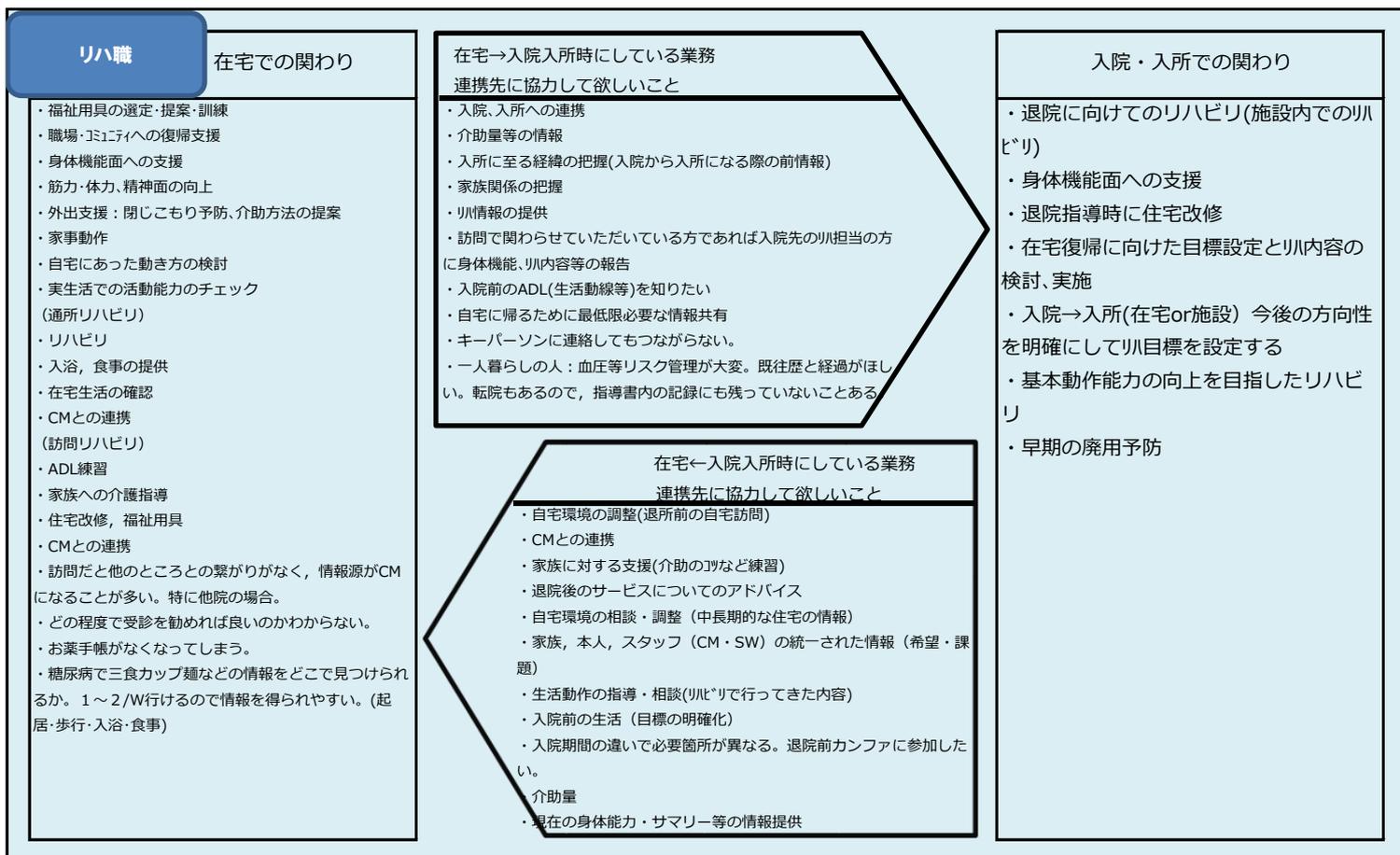
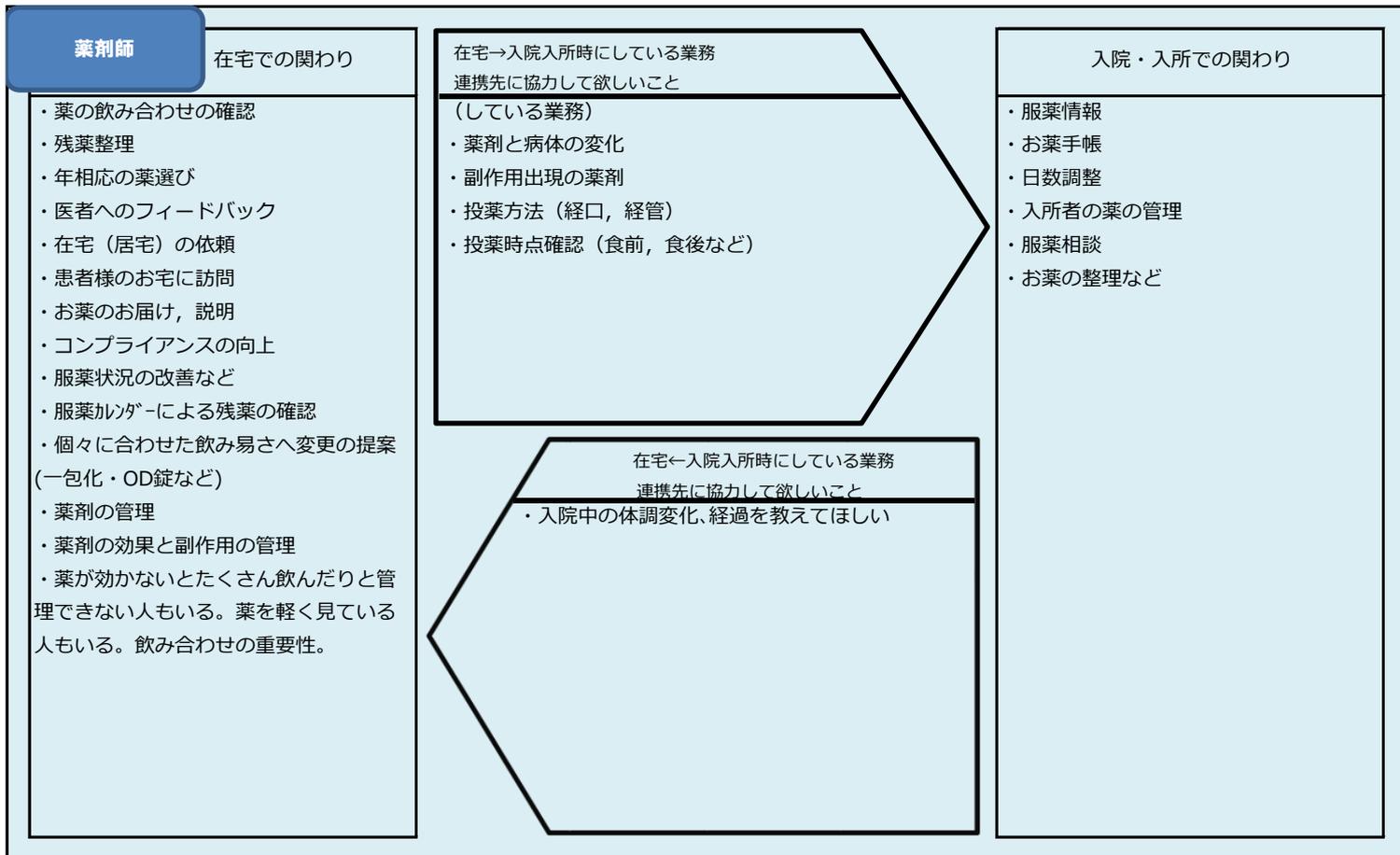


4つの場面【①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所】にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないがことができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

医師	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと (している業務)	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・往診（在宅医療） ・内服薬等の処方 ・電話等での対応（医療） ・開業しながらの訪問は往診日を決めてやらないと難しい ・摂食，嚥下勉強会（PDN：NPO法人PEGドクターズネットワーク）にてガーゼにイソジンをつけて拭き取り。冷水で感覚↑。拭き取るだけで全然ちがう ・CMから情報ない。家族か本人から往診の問い合わせあり。実際当日は行けず，アポを取るの为先になってしまう。理学療法士にも予定を合わせてもらわないとできない。 ・経過，既往，薬など，安全な治療のために絶対に必要 	<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと (している業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報 ・利用者の希望と連携先の考える医療への要求 ・通常の医療，在宅の関わりと同じ ・在宅に戻るときのADL ・薬剤の変更 ・帰宅日 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者さんの生活リハビリの指示 ・通院していた際の処方 ・入所で不可能な医療への対応

歯科医師	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問歯科 ・訪問歯科の医師は特養などと契約して一回に多数診療する。在宅より施設訪問が多い。医師，衛生士が定着しないとキャリアが築けない。 ・初回は医師訪問し，二回目からは衛生士の訪問でいけなやか検討中。必要に応じやり取りする。 ・抜歯であれば麻酔も必要なので，疾患名が必要。血液サラサラ系を飲んでいても抜歯OK。エビデンスあり。 ・ADLの違いによる治療の可否，各歯科医によりけり。 ・車イスOKのところもあり。（介助の人がいれば，車イスのまま診てもらうこともできる。） ・認知症の人は治療しない。説明ができない。納得してもらえない。応急処置のみ。 ・歯科医師会の訪問マニュアルの有無。EX)。血液データは正近1か月のものなど。お薬手帳，血液データを持参してもらおう。白血球数↓で抜歯できないこともある。 ・咀嚼や口腔ケアの大切さ。優先順位をつけて身体疾患→口腔も。 ・歯科外来のうちからブラッシング指導をして在宅訪問しなくてすむようにしていく ・治療前にはみがき指導が必要な人もいる ・歯科の教育指導の普及啓発が先かな。 ・かかりつけ歯科医以外でも訪問歯科診療を依頼してもよい ・在宅での歯科診療はやりたい診療はほとんどできない ・歯科に関するどんな「ニーズ」があるのか知りたい 	<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガンの手術，放射線療法を予定している場合は周術期の治療を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中は口腔清掃状態を保つよう指導していくことが重要 ・施設の場合は歯科医師と連携があれば，入所者のアセスメントをとり治療を行うこととなる。

4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

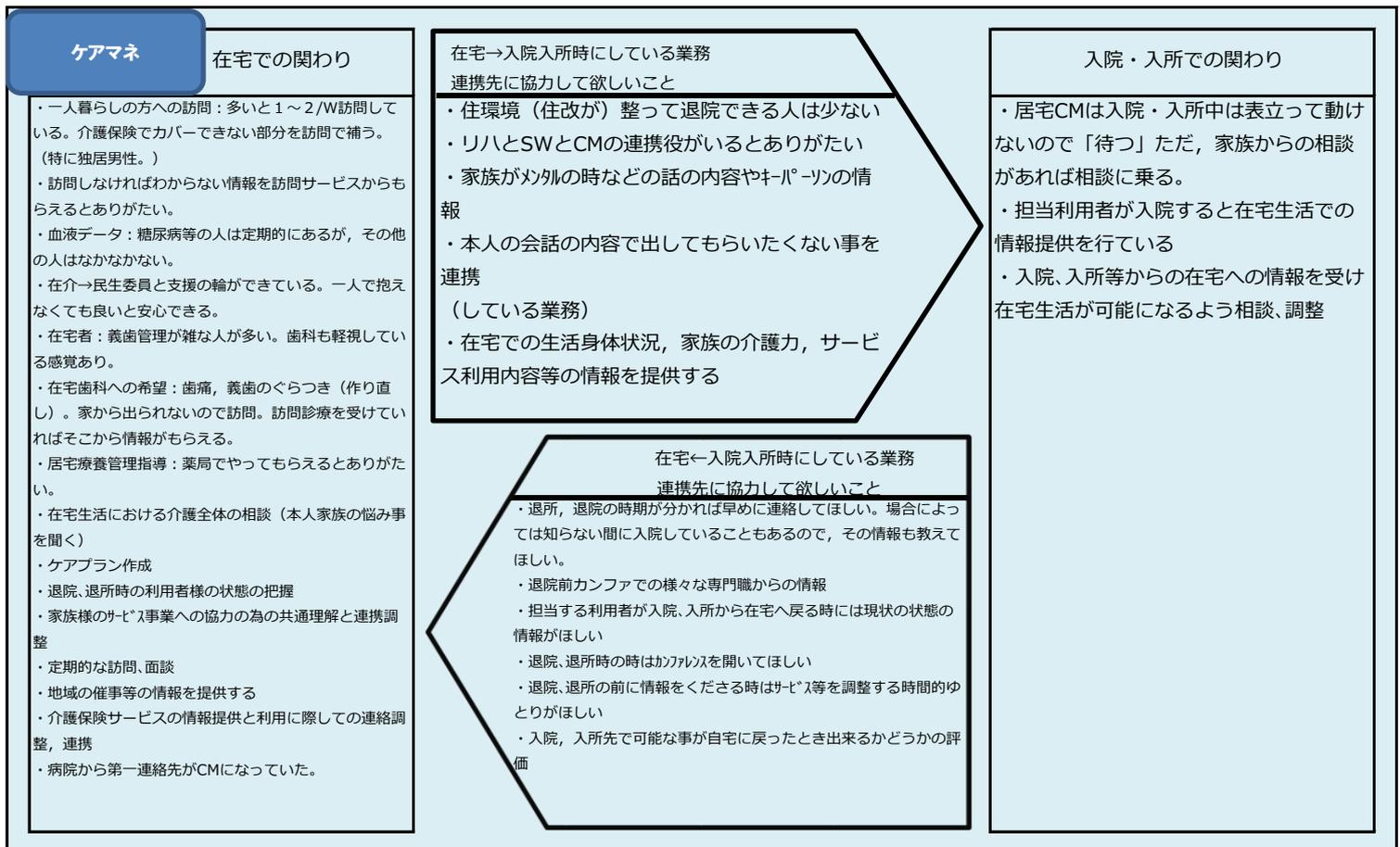
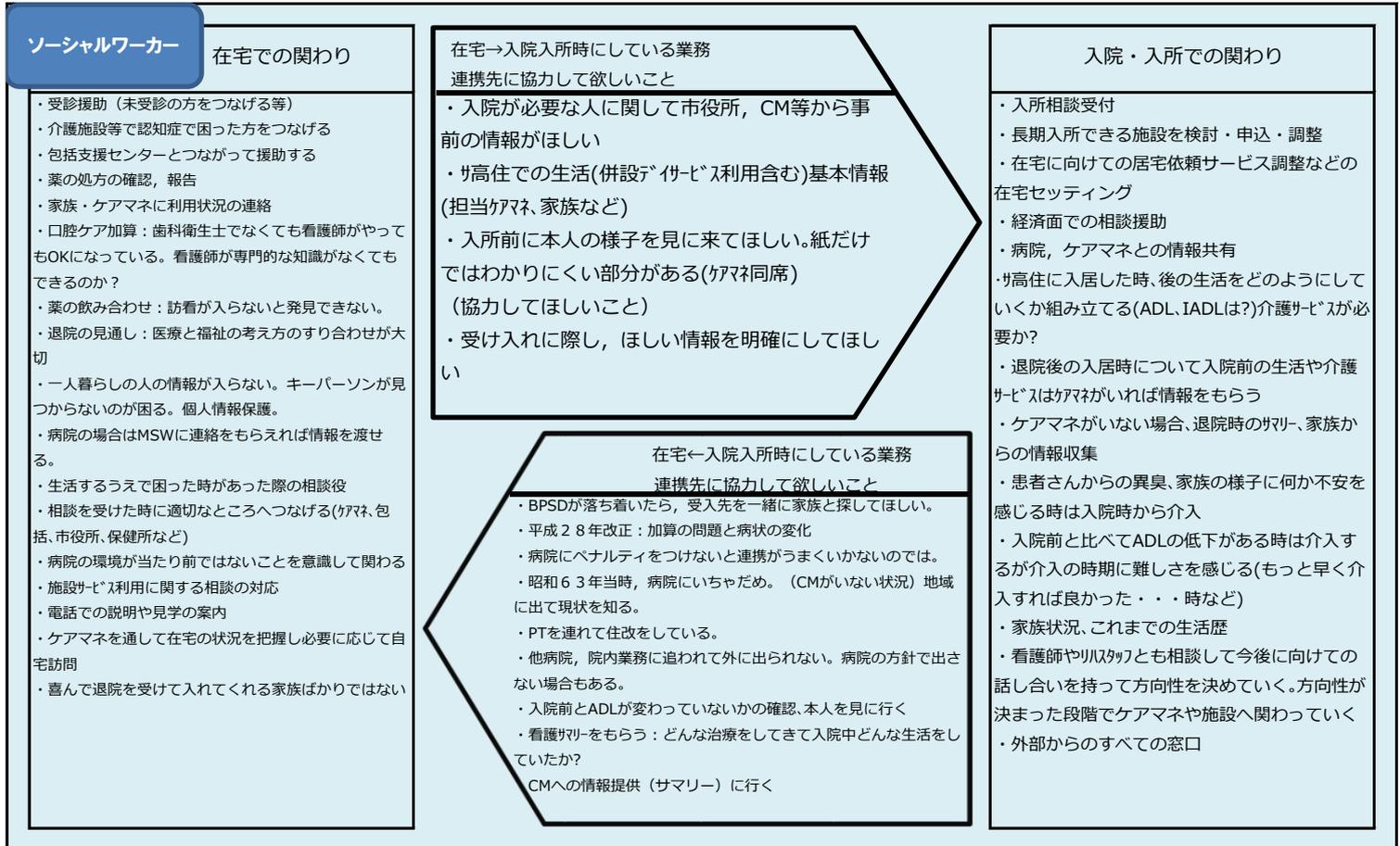


4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

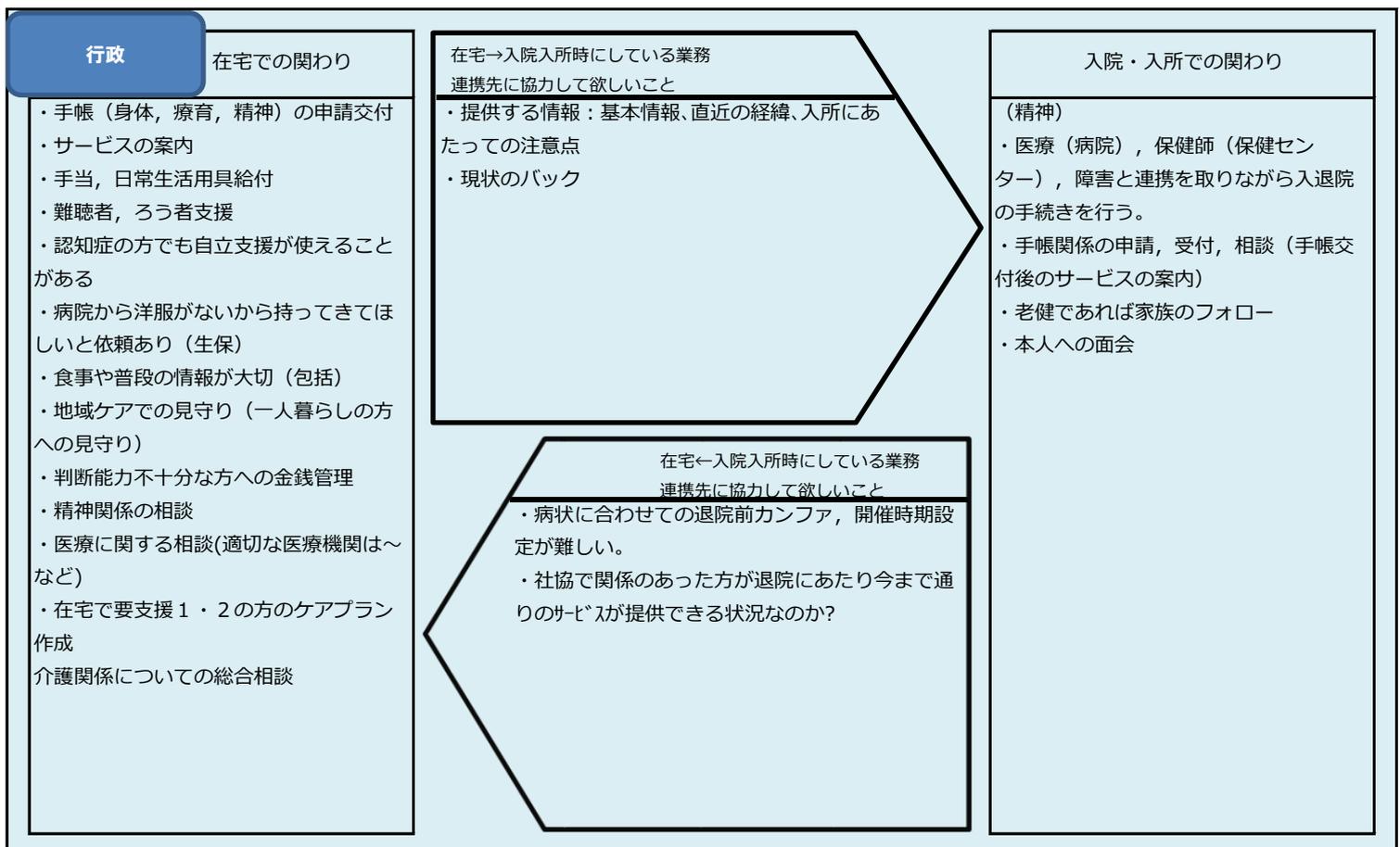
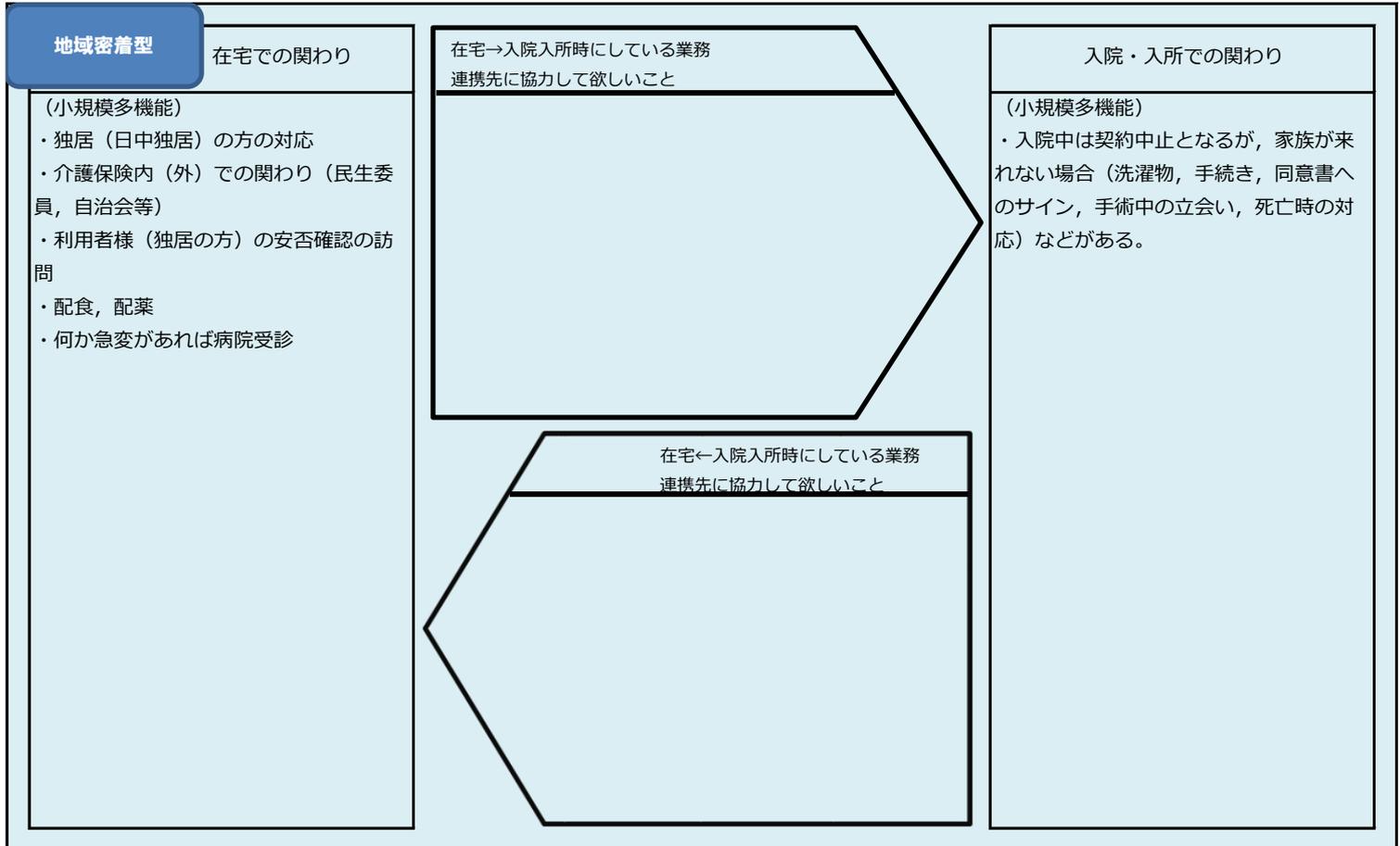
看護師	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者へのアドバイス（介護方法、難病申請など） ・介護者への精神的支援 ・多職種への連携と調節 ・生活支援 ・状態観察（早期異常発見→医者への報告） ・医療処置（褥瘡処置、点滴、吸引など） ・小児レスパイトケア（日中預かり） ・在宅療養生活の支援 ・処置やケアが継続できるように ・体調不良時の対応方法の判断のお手伝い ・必要（不足）な情報を相談員に依頼 ・相談員から情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーの記入（状態の中間報告、死亡連絡） ・精神科の方の症状についての困り方が病院とずれてしまう。 ・家族構成・キーパーソンの理解力 ・今の時期だと予防接種、肺炎球菌ワクチンの接種月 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中に訪問看護が決定するなら病棟への事前訪問 ・看護計画、栄養マネジメント計画書の内容の確認 ・軽快した人のサマリーの準備はできているか
		<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療面の情報 ・物品の値段、入手方法(家でも使える値段) ・経過を伝える（サービス事業者、外来） ・病歴、併用歴 ・投薬経路（経口・経管） ・身体情報 	

栄養士	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅管理指導：Dr.からの指示で食事の状況を見て栄養指導する ・嚥下食 ・保健センター：栄養指導、改善 ・簡単な料理：電子レンジ 	<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと</p>	

4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）



4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）



4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

